

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-147663

(43)公開日 平成5年(1993)6月15日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 5 D 33/25

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z 6916-3E

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-316972

(22)出願日 平成3年(1991)11月29日

(71)出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72)発明者 渡辺 薫

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72)発明者 岡田 孝夫

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

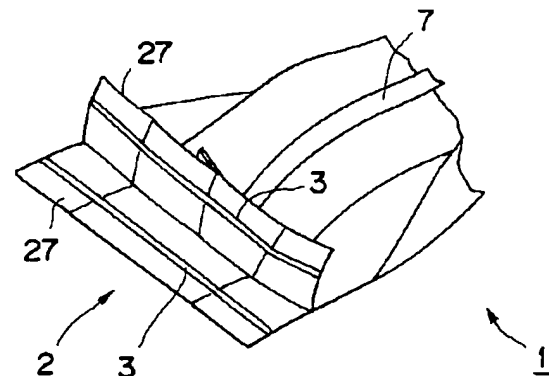
(74)代理人 弁理士 石川 泰男 (外2名)

(54)【発明の名称】 包装袋およびその形成方法

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 開口部にファスナーの取付けが容易な包装袋を提供する。

【構成】 ガゼット折込部の内側突出縁に沿って適宜の長さ切込みを入れ、その切込部を外側に引出して互いに対向する拡開片27を形成し、この拡開片27のそれぞれの内面に雌雄のファスナー3を取付ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ガゼット折りにしたガゼット予備成形体の一端を接着し、他端の開口部のガゼット折込部の内側突出縁に沿って適宜の長さ切込みを入れ、その切込部を外側に引出して互いに対向する拡開片を形成し、この拡開片のそれぞれの内面に雌雄のファスナーを取付けて袋の開口部を形成したことを特徴とする包装袋。

【請求項2】 ガゼット折りにしたガゼット予備成形体の一端を接着し、他端の開口部のガゼット折込部の内側突出縁に沿って適宜の長さ切込みを入れ、その切込部を外側に引出して互いに対向する拡開片を形成し、この拡開片の一方を他方に対してめくり上げ、それぞれの拡開片の内面に雌雄のファスナーを取付けるようにしたことを特徴とする包装袋の形成方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は御菓子等の内容物を包装するためにシートを折重ねて形成するガゼットタイプの包装袋及びその形成方法に関する。

【0002】

【従来の技術】包装袋の入口にファスナーが設けられているものがある。即ち、図7に示すように従来のガゼットタイプの包装袋は袋本体50を有し、この袋本体50の一端に開口部が形成され、この開口部は予めファスナー52を装着したファスナー片51を準備し、このファスナー片51を前記袋本体50の一端に接着するようにして形成している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、前記ファスナー片51を予め準備し、それを本体50の開口部分に接着する動作は煩雑である。

【0004】本発明は係る点に鑑み、別体のファスナー片を準備することなく、帯状のシートを折込動作し、ファスナーの取付が容易なガゼットタイプの包装袋及びその形成方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の包装袋は、ガゼット折りにしたガゼット予備成形体の一端を接着し、他端の開口部のガゼット折込部の内側突出縁に沿って適宜の長さ切込みを入れ、その切込部を外側に引出して互いに対向する拡開片を形成し、この拡開片のそれぞれの内面に雌雄のファスナーを取付けて袋の開口部を形成したことを特徴とする。

【0006】更に、本発明の包装袋の形成方法は、ガゼット折りにしたガゼット筒体の一端を接着し、他面の開口部のガゼット折込部の内側突出縁に沿って適宜の長さ切込みを入れ、その切込部を外側に引出して互いに対向する拡開片を形成し、この拡開片の一方を他方に対してめくり上げそれぞれの拡開片の内面に雌雄のファスナーを取付けるようにしたことを特徴とする。

【0007】

【作用】ガゼット折込部の内側突出縁に沿って切込みを入れると、互いに対向する拡開片を形成することができ、その一方の拡開片をめくり上げると開口部の内面が露出するのでそこに容易にファスナーを取付けることができる。

【0008】

【実施例】以下、図面を参照して本発明の一実施例について説明する。本発明のガゼットタイプの包装袋1においては、図6に示すように、内容物を取り出すための開口部2に雌雄のファスナー3、3が付着され、これらファスナー3、3を嵌合することにより開口部が閉じられる。また、前記包装袋1の底部4は図3に示すようにその端縁に沿って溶着した溶着部5を有している。

【0009】次に、本発明の包装袋1の形成方法について説明する。図1において、帯状の包装材シート20が準備され、このシート20を図示しないガイド板等により折込線11～18に沿って折込んで、図2に示すようにガゼット折り筒体21を形成する。この際左右両端片7、7は筒体21の上面中央部において溶着される。そしてこの筒体21を横方向に切断してガゼット予備成形体22を形成する。この予備成形体22は図3に示すように、その長手方向の一端開口部を包装袋の底部として形成するためにその左右ガゼット折込部23、23の端縁に沿って一定幅に溶着して溶着部5を形成している。

【0010】前記予備成形体22の他端開口部2のガゼット折込部24の内側突出縁25、25には、長手方向に所定長切込み26、26が入れられ（図4）、この切込み部分を外方に引出して互いに対向する拡開片27、27を形成する（図5）。これら拡開片27の一方を開示しないガイド部材によってめくり上げて拡開片27の内面を露出し、この内面に雌雄のファスナー3、3が付着される。開口部2の左右端は適宜溶着され両ファスナー3、3を嵌合させることによって内容物は包装袋1内に密封される。

【0011】

【発明の効果】本発明は、以上のように構成したので、包装袋の開口部に容易にファスナーを付着できるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の包装袋用の包装材シートの折込状態説明図である。

【図2】ガゼット筒体の斜視図である。

【図3】ガゼット予備成形体の斜視図である。

【図4】ガゼット予備成形体の開口部に切込みを入れた状態の斜視図である。

【図5】ガゼット予備成形体の開口部のガゼット折込部を外方に引出した状態の斜視図である。

【図6】包装袋の開口部の拡開片の一方をめくり上げた状態の斜視図である。

3

4

【図7】従来のガゼットタイプの包装袋の斜視図である。

【符号の説明】

1…包装袋

3…ファスナー

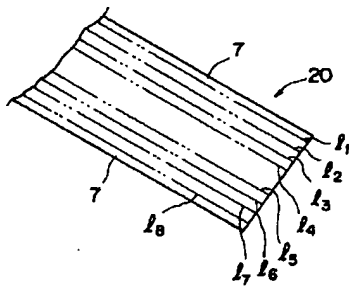
22…予備成形体

23…ガゼット折込部

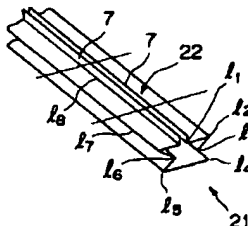
26…切込み

27…拡開片

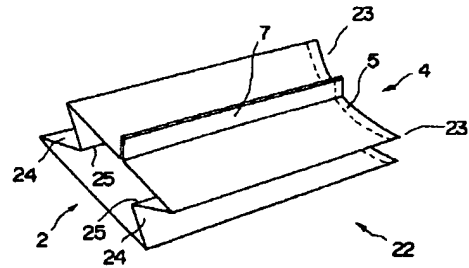
【図1】



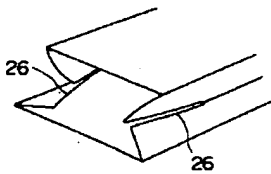
【図2】



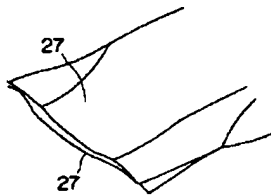
【図3】



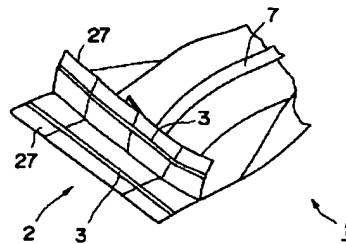
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

